



特集：宿場まつりとフードパーク



東海道藤沢宿は遊行寺近くにある江戸方見附から小田急線藤沢本町駅近くの京方見附迄のエリア、日本橋から6番目の宿場町として栄えてきました。「藤沢宿まつり」はそうした寺社や、宿場町としての香りを残す建物などを中心にして開催されてきました。3年前は雨、その後2年はコロナ禍によって中止。今年は、感染拡大状況も踏まえ、その中でできることを検討しながら開催の準備を進めています。「この土地が持つ歴史を感じる機会、興味を持つきっかけになればよいと考えています」と語るのは、

旧東海道藤沢宿まちそだて隊（以下、まちそだて隊）の広報担当、岩田さん。まちそだて隊は、藤沢宿まつりの主催団体。昨秋に、発足から10年を迎えました。今回は、3月6日に開催予定の藤沢宿まつりについて取材しました。

「歴史ある寺社や街並みの魅力を再発見しつつその価値をブランド化していくことを目的に、神奈川県や藤沢市の支援を受けてまちそだて隊が発足しました。その取組みの一つとしておまつりが始まりました。」と岩田さん。（つづく）



特集：宿場まつりとフードパーク



発足当初は、企画・書類作成などコンサルタントの力を借りていましたが設立間もなく自立して、隊員がすべてのことを相談の上決めるようにしているそうです。

岩田さんは、「最初は、街道筋にあるさんこうどうさんや田島さんの駐車場でイベントをやりました。2年目からは御殿辺公園に移して、それからずっと続いています」と当時を振り返りました。まちそだて隊としては手探りの状況の中で、近隣の多くの方にご協力いただきながら藤沢宿まつりを作り上げてきたそうです。岩田さん曰く「現市政では藤沢宿に関連した取り組みに非常に協力していただいていて、これまで東海道シンポジウムの開催や交流館の開設など関連した出来事も多く行われました」とのことです。

藤沢宿まつりにより商店街や寺社、大学、行政や歴史的建造物の持ち主の方々など、地域の様々な関係者が協力し合うことで、おまつりを通じて地域が一つになる機会を作ってきましたが、「開催側は楽をして前例を踏襲しがちで、段々『地域のおまつり』のような雰囲気になってきているのを感じていました。宿場として形成される以前から人々の暮らしがあり、明治以降も反映した歴史のある地区なので、参加者がそうした昔話と接する機会としてつないでいきたいと考えています」と、岩田さんは話しました。今回の開催にあたっては、白旗神社における

テイクアウトパークとの協力も始めました。テイクアウトパークは昨年の緊急事態宣言発出時に、市内の飲食店を応援するために始まりました。岩田さん曰く、「恒例化していたものにちょっと変化がただけでなく、参加店のファンの方も来てくれるかもしれません。一緒にやることでイベントの参加者にも広がりが出てくるのではないかと期待しています」とのことです。藤沢宿まつり当日は「フードパーク in 白旗神社」として、白旗神社境内にて開催されます。

企画や運営に多くの方が関わっていても、続けていると「前と同じ」になりがちです。今回の藤沢宿まつりでは新しいパートナーシップを増やすことが、イベント自体の展開や見え方を変えることに繋がっている印象を受けました。



今回はまち歩きやフードパークのほか、落語会やワークショップ、展示なども実施予定です。コロナ禍の影響や社会的な制限が強くなった場合について、2月初頭現在では、フードパークからテイクアウトパークへの変更など、感染症拡大状況に応じてできることを検討している最中とのことです。イベントに関する情報は、随時まちそだて隊の facebook ページ (<https://www.facebook.com/kyutokaidofujisawasyukumachisodatetai/>) から発信しています。

(取材と記事作成：関野)

団体紹介

旧東海道藤沢宿まちそだて隊

設立：2011年9月

HP：
<https://www.facebook.com/kyutokaidofujisawasyukumachisodatetai>



近年、まちを訪れる人の中には、歴史ロマンを感じながらまちを歩き、旅の満足度を高める人が増えています。少子高齢化社会の中で、藤沢の交流人口を増すためには、「本物の歴史を演出するストーリーによる地域資源の見える化戦略」が欠かせません。そこで、私達まちそだて隊は、「お蔵入りした藤沢宿のお宝を再び活かす、歴史ロマンを感じる本物のストーリーづくり」を目標にしています。

活動内容は、旧東海道藤沢宿周辺の「地域資源を活かしたまちそだて」の実現に向けた課題の抽出及びその解決に向けた必要な調

査、検討、調整、事業を実施します。

まちそだてプロジェクトは、藤沢宿周辺の課題を解決するための社会実験として実施します。



市民活動支援施設では、毎年「調査研究事業」を実施しています。調査結果は藤沢市市民活動推進委員会における計画策定の資料となります。また、ウェブ上で公開して市民活動に興味のある方、研究されている方にも役立てて頂いています。2年ごとに活動状況調査としてほぼ同様の設問で構成された調査を行っており、これまでの結果と比較ができるようになっています。

正式な調査報告書は追ってウェブサイト上で公開いたしますが、特徴的な結果を抜粋してお知らせいたします。

1. コロナ禍の影響で活動が不活発に

前回（2019年度調査）と比較して、「ほぼ毎日」活動している団体が18.6%から13.9%へ減少するなど、活動頻度が下がっています。

2. 全体的に収益規模が縮小

10万円規模の団体の割合は16.0%から

33.8%まで高まり、10万円以上のグループの多くが割合を減少させています。

3. オンライン化が進むが、手つかずの団体も

Web会議や広報でオンライン化が進んだことが分かる一方で、「ITスキルが向上した」団体は39件13.9%に留まっています。

4. 活動の幅が広がっている

活動内容やボランティア募集方法、情報発信などで、団体がより多くの手段を選ぶ傾向がありました。

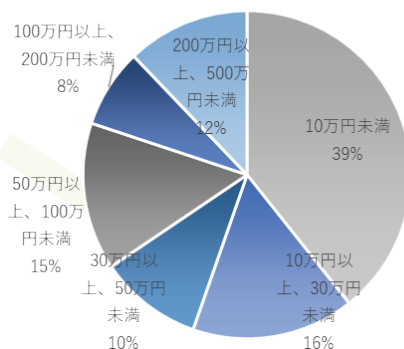
ご回答いただいた皆様、ご協力ありがとうございました。コロナ禍の影響で団体運営への支障が出ている一方で、オンラインの取り組みなどで皆様が工夫を続けている様子がうかがえます。

今回からブラウザ上のフォームを使って、オンラインで回答できるようにいたしましたところ、回答（感想）の中でもご好評を

頂きました。オンラインで完結するイベントも増えたことで、回答される方の中にも慣れを感じます。

回答フォームを作る際や、アンケートの作り方などについても、お困りごとがございましたら、市民活動支援施設でご相談を承ります。（せ）

収益総額



電子取引制度の改正と NPO

令和3年度の税制改正において、「電子計算機を使用して作成する国税関係帳簿書類の保存方法等の特例に関する法律（以下、電子帳簿保存法）」の改正等が行われました。事業者の事業年度に関係なく、2022（令和4）年1月1日に施行されます。詳しくは、令和3年度税制改正による電子帳簿等保存制度の見直しについて（国税庁）をご覧ください。NPOも例外ではありません。

そもそも帳簿や書類は紙で保存が原則とされていましたが、電子帳簿保存法により、電子媒体での保存ができるようになり、承認申告制度の廃止や書類のスキャナ保存の要件の緩和など、一般的には条件緩和が改正の主な変更点となるのですが、それだけではなく、紙保存が不可になるものも出てきたのです。例えば、ネットで購入するなど、電子取引をした際に発行された請求書や領収書などは、今までプリントアウトして紙での保存としていましたが、オリジナルの電子データでの保存となり、紙での保存は必要なくなります。逆に紙での保存は不可ということになりました。特に、法人税の納税義務のある法人は気を付けなければいけません。電子取引とは、取引情報の授受を電磁的方法で行う取引を指し、電子メール本文や添付

ファイル、ストレージなどクラウドサービスを使っているデータの授受などがあり、電子取引制度では、そのような状況によりデータを受け取った場合は、データで保存することとなっています。

また、最近話題のインボイス制度（消費税の適格請求書等保存方式）が、2023（令和5）年10月1日から導入され、税務署への「適格請求書発行事業者（インボイスを交付できる事業者として税務署の登録を受けた事業者）」としての登録申請が必要となるといったことも告知されています。詳細は、国税庁のホームページ又は動画でご確認ください。（https://www.youtube.com/watch?v=-jS_W3u_hBGw）

NPOの活躍に期待が高まってきていることから、法的な拘束もしっかり受け止め、組織運営にこれまで以上の注意を払い、信頼されるNPOとして、事業活動の価値とともに組織の価値を向上させる必要性が出てきました。しっかりと学び、実行していきましょう。（て）



講座・イベントの

ごあんない

イベント

日時

■IT サポート講座「団体のウェブサイトを作成しよう！」	2月21日・28日(土)	13:30～16:00
■マネジメント講座「あなたのまわりのSDGs 講座」	3月6日(日)	13:30～15:30
■第7回 外国人の日本語スピーチ大会 in 湘南台	3月12日(土)	13:30～15:00
■フードドライブ回収ボックスの設置(3月)について	3月7日(月) ～	3月10日(木)

NEW!

支援施設からのお知らせ

■IT サポート講座「団体のウェブサイトを作成しよう！」

インターネット上で団体の活動を紹介しませんか? 無料ウェブサイト作成ツールを活用して、ウェブサイトを作成してみましょう。ウェブサイトの仕組みから実践まで学べる2週連続講座です。

日時: 2022年2月21日・28日(月) いずれも13:30～16:00

会場: 市民活動推進センター 会議室 A

料金: 2000円

内容: ウェブサイトの仕組みを知る(1回目)

ウェブサイトを作成してみる(2回目)

対象: NPO・市民活動・地域活動に関わっている方

定員: 5団体10名 ※1団体で複数名の参加を推奨

持物: ノートPC、電源アダプタ、マウス等

※貸出PCあり

問合・申込: 市民活動推進センター



■マネジメント講座「あなたのまわりのSDGs 講座」

上場企業の元経営幹部およびCSR担当役員の視点から学ぶ、SDGsの基礎講座。また、藤沢市内でSDGsをテーマに取り組んでいる団体じゃら事例を紹介します。SDGsの目標と自団体の活動がどう関連づけるのか考えてみませんか?

日時: 2022年3月6日(日) 13:30～15:30

会場: オンライン

講師: 松村 はるみ 氏

料金: 1000円

内容: 企業の視点から学ぶSDGs 基本講座

ふじさわのSDGs 事例紹介

対象: 公益的な市民活動を行っている団体や個人

問合・申込: 市民活動推進センター



■第7回 外国人の日本語スピーチ大会 in 湘南台

藤沢に暮らす外国人のみなさんのお話を聞きに来ませんか。普段推進センターやプラザ、市内公共施設などで活動をしている団体から、日本語を学ぶ生徒さんが参加しています。

※本企画は、市民活動プラザむつあいと湘南台公民館との連携事業です。
※新型コロナウイルスの影響などにより、予定が変更になる場合があります。

日時: 2022年3月12日(土) 13:30～15:00

会場: 湘南台文化センター 市民シアター

対象: 市内在住・在勤・在学の方100人

※感染症対策のため、座席は指定席となります

料金: 無料

申込期間: 2月17日(木)～3月9日(水)

申込方法: 電話(0466-45-3070) 又は湘南台公民館への来館

問合・申込: 湘南台公民館

■フードドライブ回収ボックスの設置(3月)について

2022年2月より、市民活動推進センターにフードドライブ回収ボックスを設置しています。ご協力頂けると幸いです。

※アルコール類、賞味期限の記載がないもの(米等を除く)、外装が破れているものは受け取り出来ません。

期間: 2022年3月7日(月)～3月10日(木)

条件: ・常温で保存できる

・開封されていない

・賞味期限が明記され、残り1か月以上ある



※他の設置場所等、詳細はQRコードよりご覧ください。

発行: 藤沢市市民活動支援施設

本館: 市民活動推進センター

開館時間 9:00～22:00 火曜休館

〒251-0052

神奈川県藤沢市藤沢1031 GRAFARE FUJISAWA 2F

※ビル名が変更になりました

TEL: 0466-54-4510 FAX: 0466-54-4516

Eメール: f-npoc@shonanfujisawa.com



分館: 市民活動プラザむつあい

開館時間 9:00～19:00 月曜休館

〒252-0813

神奈川県藤沢市亀井野4-8-1 六会市民センター2階

TEL&FAX: 0466-81-0222

Eメール: f-npoplaza@shonanfujisawa.com

URL: http://plaza6i.f-npon.jp/



編集: 認定NPO法人 藤沢市市民活動推進機構(藤沢市市民活動支援施設 指定管理団体)

※この情報誌は、サポートクラブのメンバーのご協力により、皆さまのお手元に届いております。サポーターも随時募集中です!